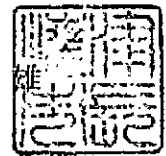


焼 72- 198号  
平成20年10月15日

国土交通省 道路局長 様

焼津市長 戸 本 隆



今後の道路行政についての意見・提案について

このことにつきまして、別紙のとおり提出しますので  
よろしく願いいたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県 焼津市

▽ 地域の状況に見合った基準の柔軟な対応

道路構造令の見直しについて、「柔軟性のある道路構造令のあり方検討委員会」において、検討されていますが効率的で効果の高い道路整備を進めていく上では、全国一律の道路構造ではなく地域の特性を踏まえた中での整備が望まれます。

例えば、都市計画道路をはじめとする歩道付きの道路については、道路の規格によって全国一律歩道幅員が、統一されており、地域住民からは「歩行者や自転車などの通行が少ないのに何故広い歩道を設置するのか」、「過大投資ではないのか」、「その分他の道路整備を進められるのに」などの声が聞こえます。

したがって、DID区域や市街地区域及び市街化調整区域の区別さらには通学路の位置づけなど、地域の特性や利用交通量などを踏まえた中で、道路構造令の基準はもとより、補助事業による採択基準についても柔軟な対応ができるよう改善をお願いしたい。

▽ 国庫補助対象枠の拡大

地域住民の道路に対する意識を今以上に身近なものとして感じて頂き、日常の道路清掃などの維持管理の一翼を将来的に担って頂けるよう、日常生活に欠くことのできない生活道路網(幅員6m程度)のうち、主な生活道路の整備について補助事業の対象として位置付けて頂きたい。

② — 1 地域の現状と抱える課題

静岡県 焼津市

○現状

I. 平成21年3月開港の富士山静岡空港と都市間を結ぶ交通ネットワークが未完成。

**交通ネットワークの未完成路線**

- ・富士山静岡空港～大井川新橋～志太中央幹線～  
小川島田幹線～国道150号～静岡方面
- ・主要地方道焼津森線～東海自動車道(第一東名高速道路)  
～第二東海自動車道(新東名高速道路)

II. 東名焼津～吉田間にインターチェンジがなく、南部地域の産業・経済活動や地域医療、防災活動の向上に支障をきたす恐れがある。

III. 大井川に架かる国道150号富士見橋付近の朝夕における交通渋滞が著しく、円滑な交通に支障をきたしている。

IV. 第二東海自動車道(新東名高速道路)と東海自動車道(第一東名高速道路)とを結ぶ主要地方道焼津森線は朝夕の交通渋滞が予想され、円滑な交通に支障をきたす恐れがある。

○課題1

I. 富士山静岡空港と東方面(静岡市方面や第二東海自動車道(新東名高速道路)を結ぶ道路網の確保。

- ⇒ 大井川新橋～志太中央幹線(現在事業化されている区間)  
志太中央幹線(事業化区間～小川島田幹線迄の区間)  
小川島田幹線(志太中央幹線～県道大富藤枝線迄の区間)  
主要地方道焼津森線(東名焼津IC付近～第二東海自動車道  
[新東名高速道路]迄の区間)

II. 東名焼津～吉田間への新インターチェンジの新設。

- ⇒ スマートインターチェンジ社会実験勉強会が県の主催で開催されていますが、交通量が8,000～10,000台/日と多いことから、形式形態、規模、事業費など総合的な検討が必要。

III. 国道150号志太～榛南バイパスの整備促進。

- ⇒ 国道150号志太～榛南バイパスの焼津区間の整備促進と大井川町区間の未整備箇所の整備促進。

IV. 主要地方道焼津森線の4車線化

- ⇒ 主要地方道焼津森線の藤枝市域内の4車線化による車道拡幅整備に引き続き、焼津市域内の未整備区間(第一東名焼津IC入口～市境C)の整備促進。

② ー2 地域の目指すべき将来像

静岡県 焼津市

1. 本市をはじめとする志太榛原・中東遠地域における今後の“まちづくり”については、開港間近な“富士山静岡空港”を核とした「臨空都市」を目指すことが望まれます。

このためには、グローバル化による産業、経済活動や、安全・安心面で地域社会を支える医療、防災面などにも配慮した地域の活力と、快適で良好な住環境を支える社会基盤の形成が必要です。

よって、地域の特徴を生かした“まちづくり”を進める上で、社会基盤としての交通インフラである広域道路網の整備は、欠くことのできない重要な施策であります。

2. 少子高齢化が進む状況下、出会い頭などの交通事故の多い本市においては、安全で安心して通行できる道路空間の確保は喫緊の課題であります。

交通事故の多い地域はもとより、小・中学校周辺部における通学路などの歩行空間の確保を始めとする安全施設等の整備について、計画の策定段階から地域住民に参加して頂き協働で策定することで、ハード面の整備と共にソフト面における交通ルールの順守と規範意識の高揚を更に認識していただき交通事故の削減にもつなげるべく今後も引き続き進めていく必要があります。

【 交通安全施設整備事業 : 教育施設等周辺交通環境整備事業 】

【 交通安全事業 : 交通事故対策エリア整備事業 】

3. 多くの市民からは、日々の生活に欠くことの出来ない生活道路の整備に対する要望が多く寄せられております。

道路整備については、交通量や周辺の土地利用状況等の各種条件、さらには道路に対する市民満足度調査結果も踏まえた中で優先順位をつけ、選択と集中により、今後も計画的に整備を進めていく考えに変わりはありませんが、幹線道路に比べ整備が遅れている身近な生活道路の整備を進める上での新たな財政的支援が必要であります。

4. 道路橋をはじめ数多くの道路施設については、着実に老朽化が進んでいることから、引続き安全性を確保することが急務であります。

維持管理面に配慮した施設整備を進めることや、既存資産の有効活用と必要となる維持管理費の確保などが大きな課題となることから、新規の投資と維持・更新費との適切なバランスを踏まえ着実な道路行政を進めて行くことが肝要と考えており、橋梁長寿命化修繕以外にも道路施設の維持・更新に係る新たな財政的支援が必要であります。

【橋梁長寿命化修繕計画 点検箇所数 橋長 15m以上 62橋】

◎ 以上のことから、目まぐるしく変化する社会情勢下においては、福祉や教育に重点がシフトするものの、将来にわたり、魅力ある安心して暮らせる”まちづくり”を進めていく上で、社会基盤としての道路の果たす役割は今後もさらに必要不可欠であるものと考えております。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県 焼津市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港を生かした地域活力の向上と円滑で安全な通行の確保</li> </ul>	<p>大井川新橋整備促進 志太中央幹線整備促進 国道150号志太～榛南BP 整備促進 東名焼津～吉田間への スマートインターチェンジ 設置</p>	<p>交通ネットワーク充実による産業・経済活動の向上や安全、安心面での地域社会を支える医療、防災面の充実及び交通渋滞の解消</p>	<p>臨空都市を目指したまちづくり  小川島田幹線整備促進 焼津森線整備促進</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な交通安全対策と少子高齢社会への対応</li> </ul>	<p>教育施設等周辺交通環境整備事業</p>	<p>ハード・ソフト両面による交通死傷事故の削減と交通ルールやマナーの向上と規範意識の高揚</p>	<p>交通事故対策エリア整備事業</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害に強い道路施設の確保</li> </ul>	<p>橋梁耐震補強事業</p>	<p>地域防災計画に定める緊急輸送路を確保する。</p>	<p>橋梁の耐震化の為の補助</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路施設の適切な維持管理</li> </ul>	<p>道路施設の維持整備事業</p>	<p>橋梁をはじめ既存の道路施設の老朽化に伴う安全性確保</p>	<p>道路施設の維持管理に対する補助</p>

## 今後の道路行政について

1. 本市をはじめとする志太榛原・中東遠地域における今後の“まちづくり”については、開港間近な“富士山静岡空港”を核とした「臨空都市」を目指すことが望まれます。

このためには、グローバル化による産業、経済活動や、安全・安心面で地域社会を支える医療、防災面などにも配慮した地域の活力と、快適で良好な住環境を支える社会基盤の形成が必要であります。

よって、地域の特徴を生かした“まちづくり”を進める上で、社会基盤としての交通インフラである広域道路網の整備は、欠くことのできない重要な施策であります。

以上のことから、次に掲げる整備が望まれます。

- I. 富士山静岡空港へのアクセス道路として整備が進められている大井川新橋、志太中央幹線、小川島田幹線、焼津森線の整備促進。

【大井川新橋等建設促進期成同盟会】

- II. 東名焼津～吉田間への新インターチェンジの新設促進。

【東名焼津・吉田間スマートインターチェンジ社会実験勉強会】

- III. 国道150号志太～榛南バイパスの整備促進。

【志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会】

- IV. 第二東海自動車道（新東名高速道路）の整備促進及び東海自動車道（第一東名高速道路）とを結ぶアクセス道路として、主要地方道焼津森線の藤枝市域内の4車線化による拡幅整備に引き続き、焼津市域内の未整備区間（市境～東名焼津IC入口付近まで）の整備促進。

【主要地方道焼津森線道路整備促進期成同盟会】

I-1. 都市間を結ぶ幹線道路網（都市計画道路）の整備による円滑な交通ネットワークの確保と想定される東海地震などの災害時における緊急輸送路として機能強化を図るため、県道高洲和田線の代替として都市計画道路の小川島田幹線の整備促進。

I-1-1. 現在、新合併支援重点道路整備事業として、一般県道大富藤枝線から市道保福島大島新田線付近までの整備をお願いしている。

この事業が完了後は引き続き主要地方道藤枝大井川線に接続できるように整備促進をお願いしていく方針。

I-1-2. なお、平成19年度に島田土木事務所が主体となり焼津・藤枝の両市が参加し、開催された「志太地域（焼津市・藤枝市）における道路整備に関する勉強会」の中で、今後の方向性が示された。

ア). 都市計画道路の小川島田幹線については、一般県道高洲和田線の代替として、一般県道大富藤枝線から都市計画道路葉梨高洲線までの区間を県が整備する。

<一般県道高洲和田線の一般国道150号から主要地方道藤枝大井川線までの現道区間については、代替として小川島田幹線が整備されれば市道に移管>

イ). 都市計画道路の志太中央幹線については、小川島田幹線から主要地方道藤枝大井川線までの区間について、小川島田幹線の整備に目途がつけば、引き続き、焼津市と藤枝市で整備を進め、富士山静岡空港と静岡方面や第二東海自動車道（新東名高速道路）を円滑に結ぶ新たな交通ネットワークの確保が図れる。

《新たな交通ネットワーク》

: 富士山静岡空港～大井川新橋～志太中央幹線～小川島田幹線～国道150号～静岡方面及び主要地方道焼津森線～東海自動車道（第一東名高速道路）及び第二東海自動車道（新東名高速道路）



2. 少子高齢化が進む状況下、出会い頭などの交通事故の多い本市においては、安全で安心して通行できる道路空間の確保は喫緊の課題であります。

よって、交通事故の多い地域はもとより、小・中学校周辺部における通学路などの歩行空間の確保を始めとする交通安全施設等の整備について、計画の策定段階から地域住民に参加して頂き協働で策定することで、ハード面の整備と共にソフト面における交通ルールの順守と規範意識の高揚を更に認識していただき交通事故の削減にもつなげるべく今後も引き続き進めていく必要があります。

【 交通安全施設整備事業 : 教育施設等周辺交通環境整備事業 】  
【 交通安全事業 : 交通事故対策エリア整備事業 】

3. 多くの市民からは、日々の生活に欠くことの出来ない生活道路の整備に対する要望が多く寄せられております。

道路整備については、交通量や周辺の土地利用状況等の各種条件、さらには道路に対する市民満足度調査結果も踏まえた中で優先順位をつけ、選択と集中により、今後も計画的に整備を進めていく考えに変わりはありませんが幹線道路に比べ整備が遅れている身近な生活道路の整備を進める上での新たな財政的支援が必要であります。

4. 道路橋をはじめ数多くの道路施設については、着実に老朽化が進んでいることから、引続き安全性を確保することが急務であります。

維持管理面に配慮した施設整備を進めることや、既存資産の有効活用と必要となる維持管理費の確保などが大きな課題となることから、新規の投資と維持・更新費との適切なバランスを踏まえ着実な道路行政を進めて行くことが肝要と考えており、そのための維持・更新に係る新たな財政的支援が必要であります。

◎ 以上のことから、目まぐるしく変化する社会情勢下においては、福祉や教育に重点がシフトするものの、将来にわたり魅力ある安心して暮らせる”まちづくり”を進めていく上で、社会基盤としての道路の果たす役割は今後もさらに必要不可欠であるものと考えております。

# 位置図

岡部町

